



# 「第四期富士通グループ 環境行動計画」について

---

2004年6月7日  
富士通株式会社  
環境本部  
古賀 剛志

FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

# 第四期富士通グループ環境行動計画のコンセプト

対象期間

活動のスローガン

対象範囲 / 領域

第3期('01 ~ '03年)

循環型社会に  
向けたトプラナー

グループ /  
工場、設計・開発  
部門

第1期 ~ 第2期  
( '93 ~ '00年)

環境経営  
の基盤構築

本体 / 工場

第4期('04 ~ '06年)

環境経営からサス  
テナブル経営へ

全グループ /  
工場、設計・開発部門、本  
社機構、営業、  
ソフト・サービス部門

# 環境行動計画の変遷



|                 | 1期～2期(93'～00') | 3期(01'～03') | 4期(04'～06')    |
|-----------------|----------------|-------------|----------------|
| ソフト・サービスによる環境貢献 |                |             | 環境貢献ソリューション    |
| グリーン製品化         |                | 全製品         | スーパーグリーン製品     |
| 有害物質対応          |                | 鉛はんだフリー     | RoHS物質全廃       |
| グリーン調達          |                | 製品用部材99%    | 対象拡大(ソフト他)     |
| 製品再資源化          |                | 国内リサイクルシステム | グローバルリサイクルシステム |
|                 | リサイクル率90%      | 資源再利用率90%   | 廃プラ再生利用率20%    |
| 化学物質排出削減        | 重点物質削減 20%     | 重点物質削減 30%  | PRTR物質削減 15%   |
| 地球温暖化対策         | 20～30%/生産高     | 40%/生産高     | 絶対量削減 15%      |
| 廃棄物削減           | 50% 80%削減      | ゼロエミッション    | 総排出量削減 3%      |
| オゾン層破壊物質        | 全廃             |             |                |
| 環境マネジメントシステム    | ISO取得          |             | グループ統合認証       |

# 1. グループ全体をあげた「サステナブル経営」の強化

## EMSのグループ会社への展開計画

### システムの概要

ステップ  
(～2005)

ソフト・サービス系の会社を  
含めた全グループ会社

ステップ  
(～2003)

● 開発 / 製造系の会社  
(各社個別のシステムを構築)

- 富士通  
(統合化による全社適用)
- 富士通の事業所に在籍し、富士通と同一システムで活動している会社

ステップ (～2005)

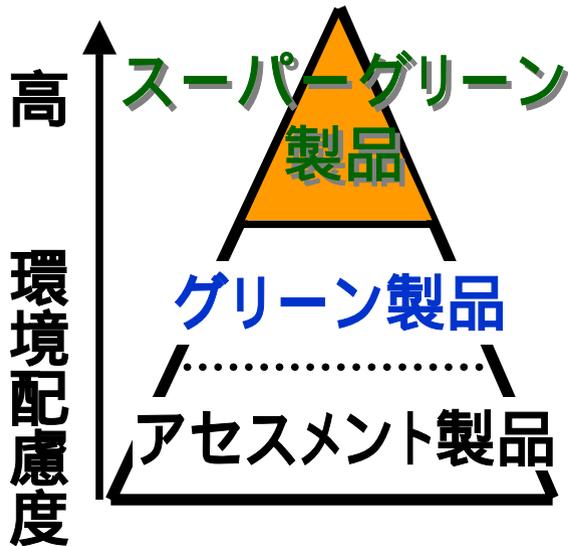
- 原則として全グループ会社を一本の環境マネジメントシステムとして構築

ステップ (～2003)

- 03年度末までに富士通全社に環境マネジメントシステム適用
- 各社個別 / 富士通在籍の事業所との一体活動により環境マネジメントシステムを適用

# 2-1) スーパーグリーン製品の提供

- 省エネ、3R (Reduce, Reuse, Recycle) 設計、有害物質などの環境要素を先行取り込み
- 国内初、業界初の製品開発による他社との差異化



ノートパソコン

業界初！

- エコリーフラベル\*取得
- 環境負荷をコスト換算 (LCC)
- 営業商談ツールに活用



ブレードサーバ

(PRIMERGY BX300)

- 省エネ 1/3達成!
- 省スペース化 7倍以上

\* エコリーフラベル: 環境負荷を定量的に示すラベル。第三者認証が特徴。

\* LCC: Life Cycle Costing

3期実績

新規開発全製品のグリーン製品化100%達成

# 2-2) 製品含有有害物質の全廃

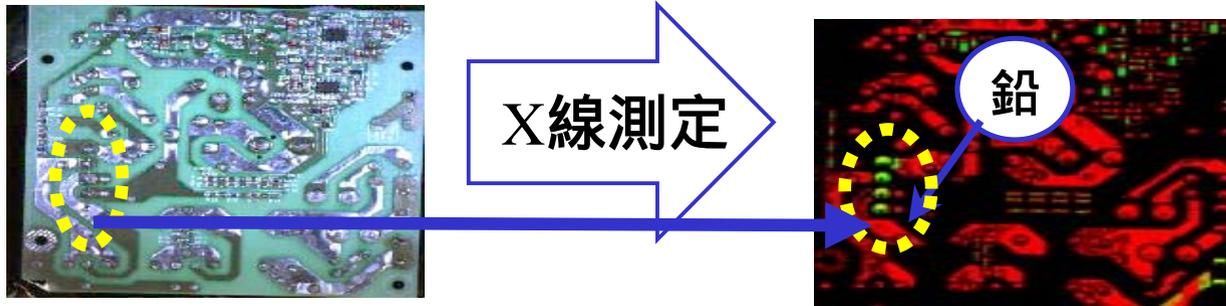
- 目標: 全ての製品に含有する富士通グループ指定有害物質を2005年度末までに全廃。

## ➤ 富士通グループ指定有害物質 (31物質)

欧州RoHS指令対象物質 + 既に法律で禁止されている物質  
(鉛, 水銀, カドミウム, 六価クロム, PBB, PBDE) (国内化審法, EU指令, オゾン層破壊)



- 分析技術開発



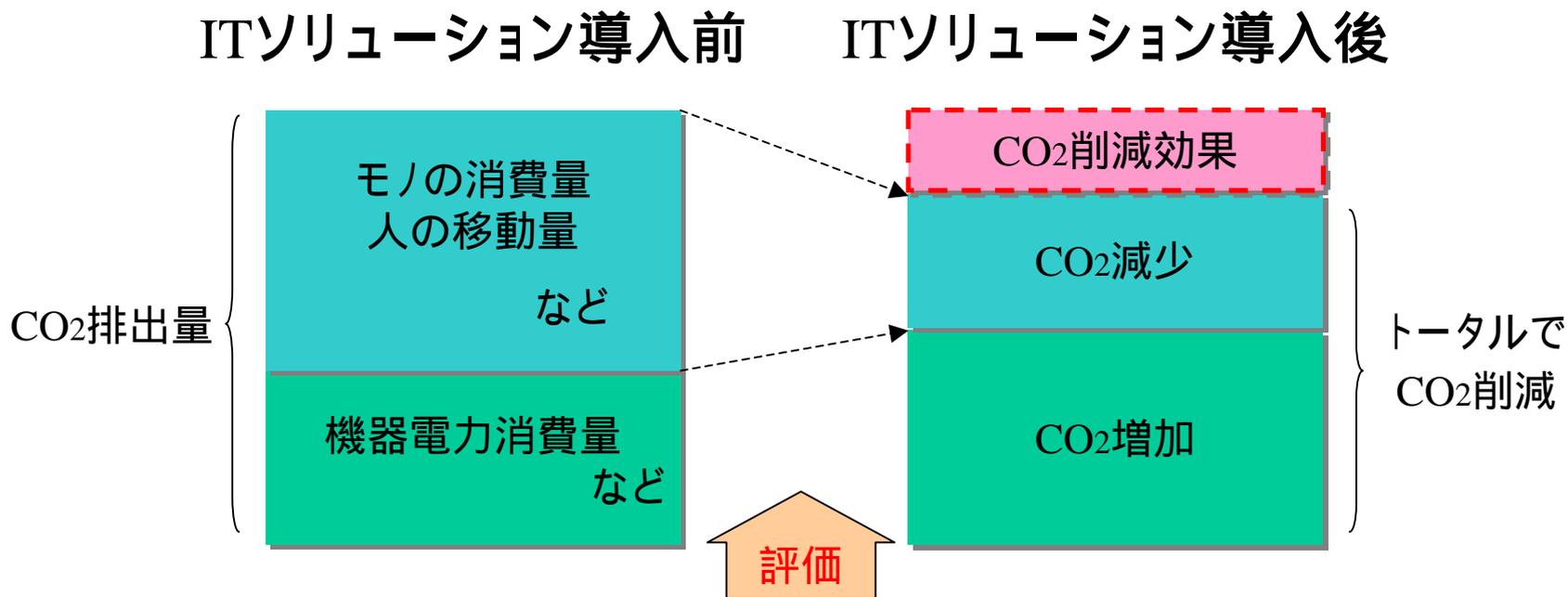
3期実績

社内製造品の鉛はんだ全廃目標に対し80.7%達成

# 3. 環境貢献ソリューション



- 環境負荷低減効果の高いソリューション製品を2004年度より提供開始



# 4. グリーン調達



領域

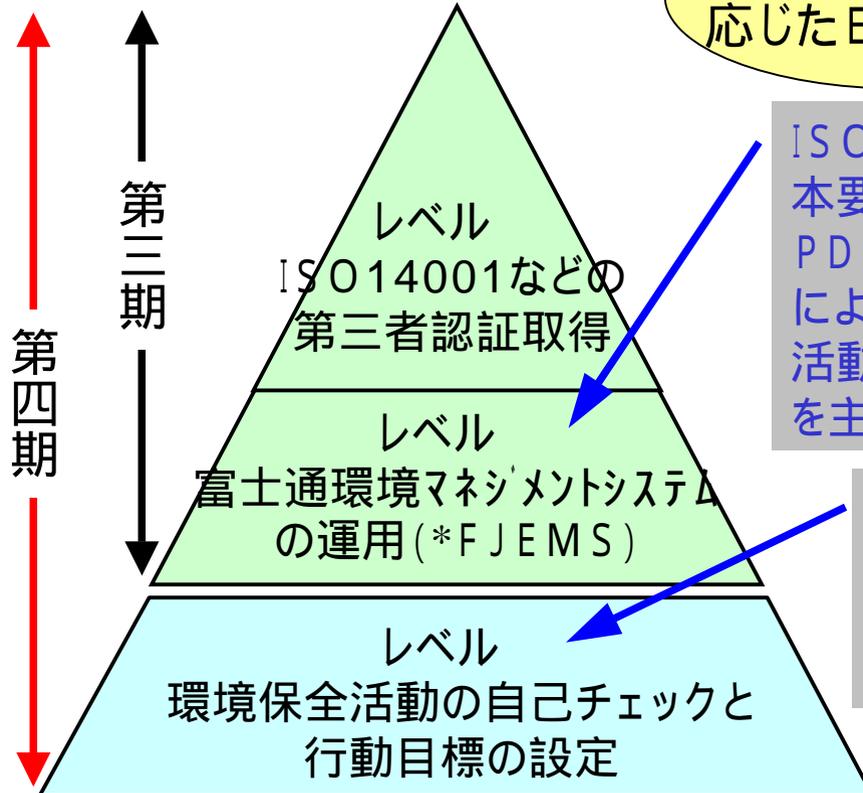
対象の拡大

- ・部品
- ・材料
- ・ユニット
- ・装置

- ・ソフトサービス
- ・設備
- ・工事



要求のレベル



お取引先の状況に応じたEMSの運用

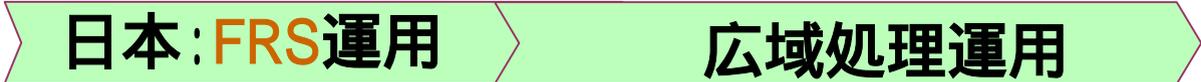
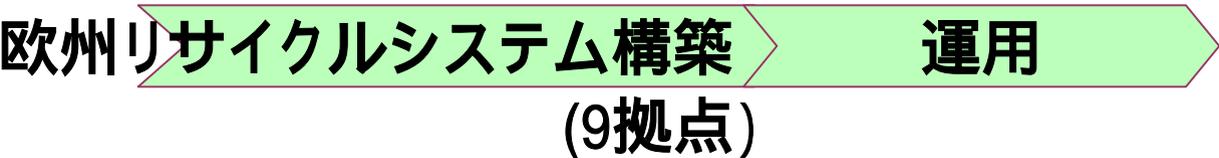
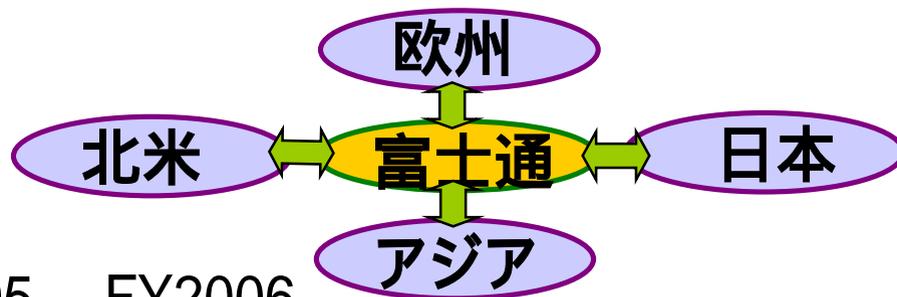
ISO14001の基本要素に絞込み、PDCAを回す事によって環境保全活動が根付くことを主眼

環境影響に対する自己認識と改善の動機付けを主眼

3期実績

グリーン調達比率99%の目標に対し、99.6%達成

# 5. 製品リサイクル



FRS: Fujitsu Recycle System

- ・法規制への早期対応  
ビジネスリスク回避
- ・ブランドイメージ向上  
ビジネス拡大

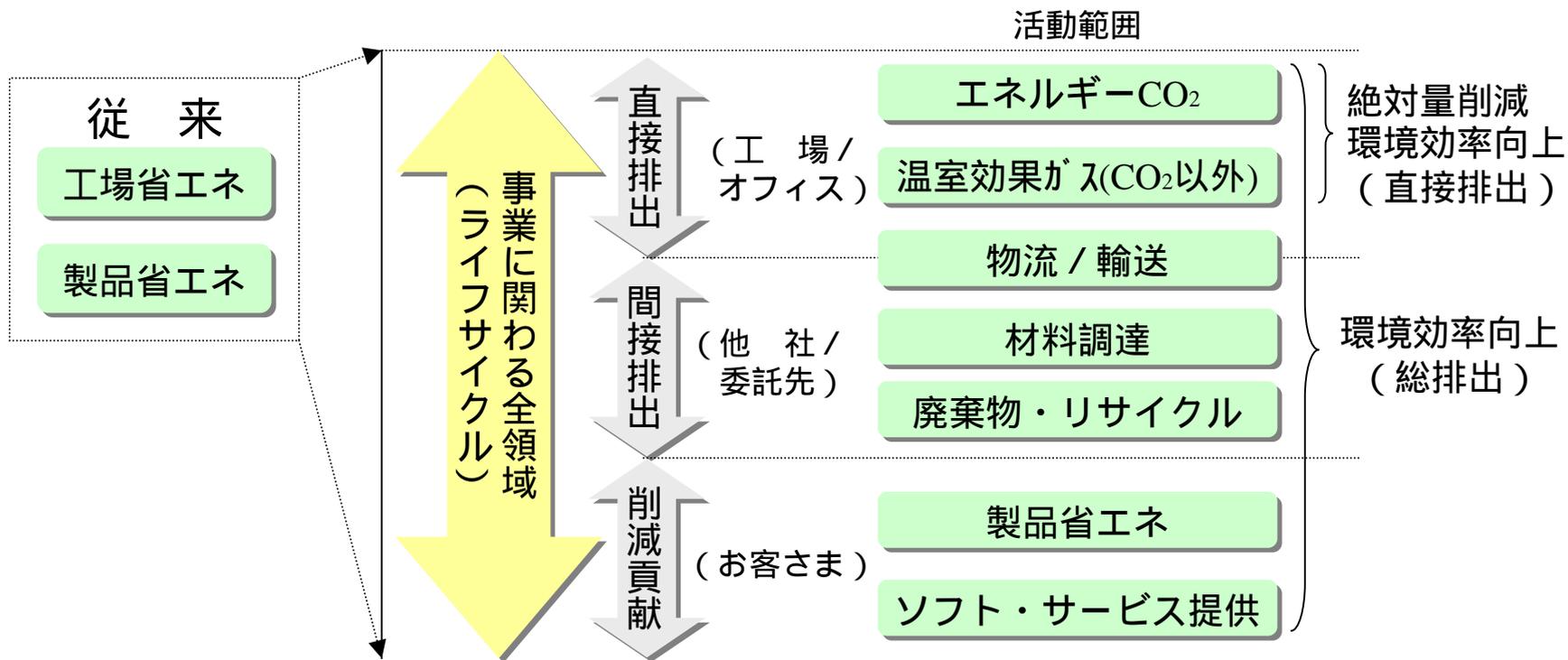
3期実績 国内で回収した使用済製品のリサイクルシステム確立

# 6. 地球温暖化対策強化



CO<sub>2</sub>排出量を2010年迄に90年度比で抑制

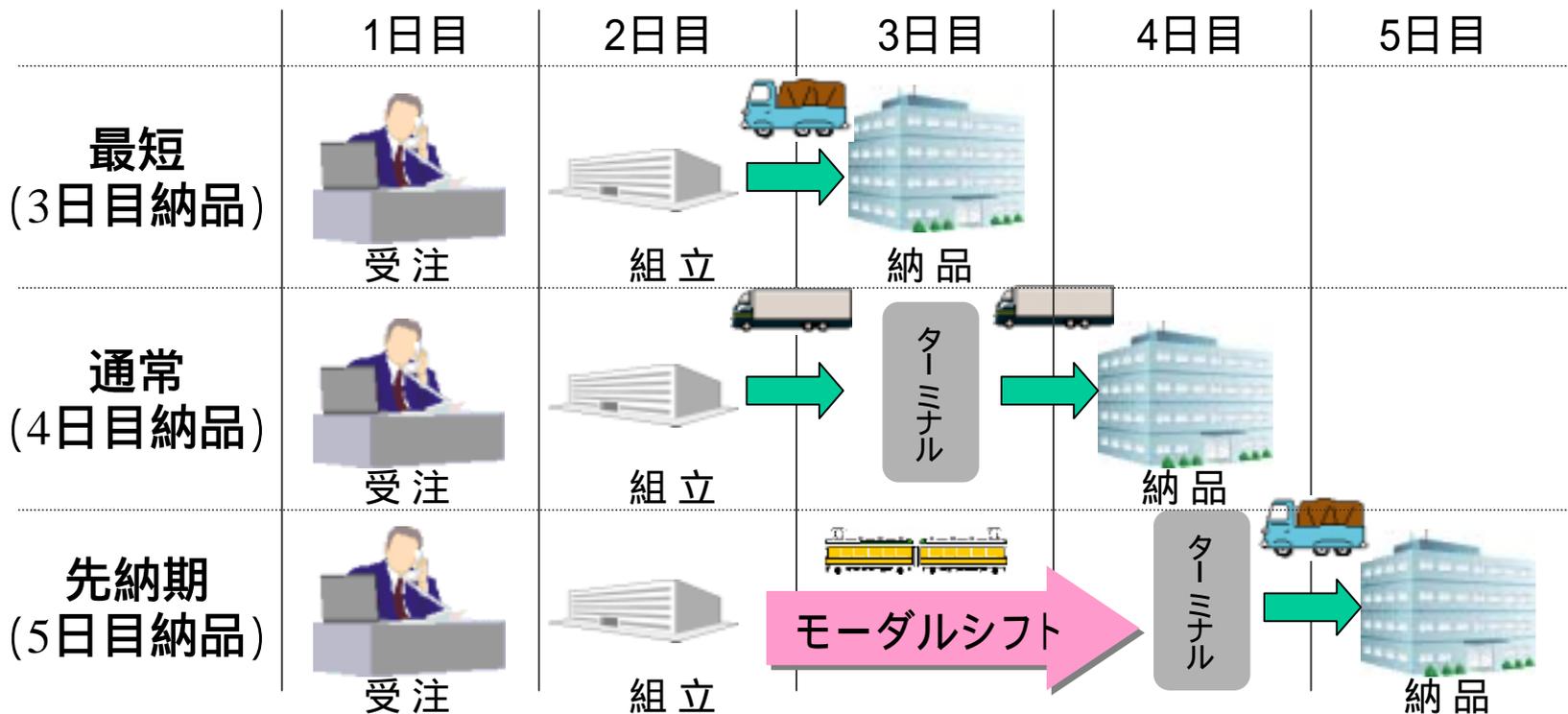
CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガスも対象とし95年度比 10%



3期実績 売上高当りエネルギー使用量 25%目標に対し28.6%達成

# 顧客に合わせた輸送モード選択システム

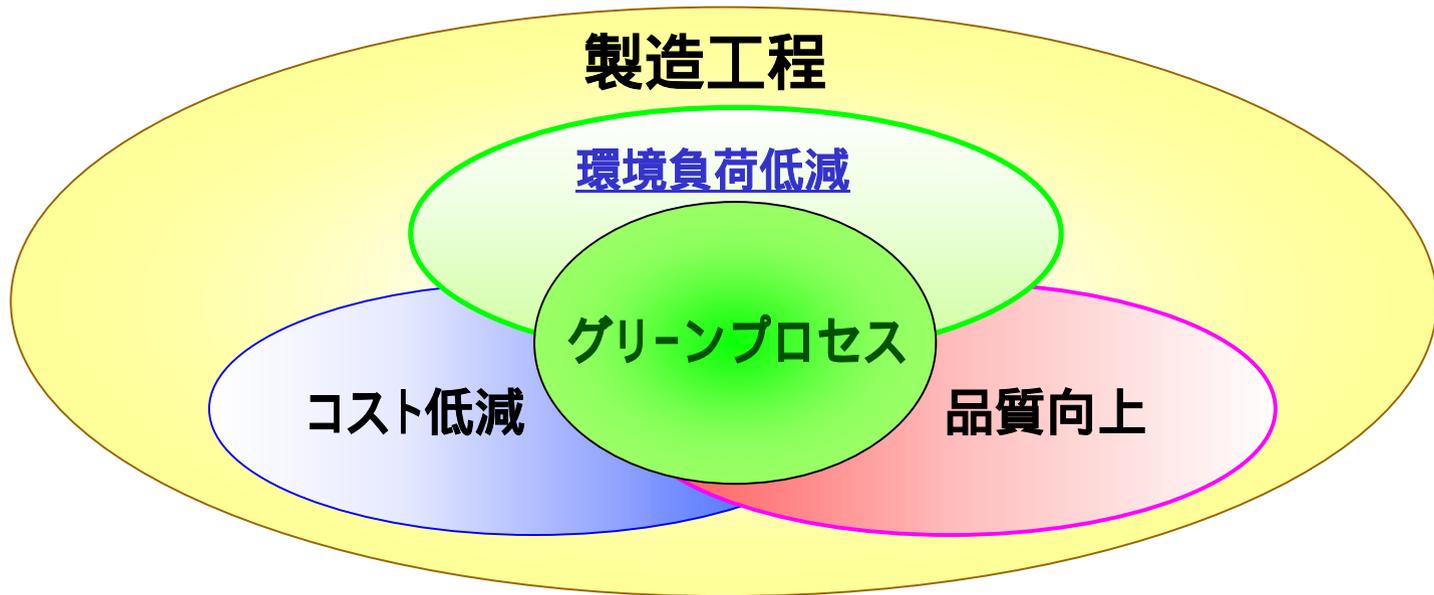
通常納期に加え、最短納期と先納期をシステム上で選択可能にし、先納期のオーダーに関しては環境負荷の少ないモーダルシフト輸送を自動選択可能なシステム



# 7. グリーンファクトリーの推進



- 今までの製造工程の主な評価項目であるコスト低減、品質向上に新たな評価項目である環境負荷低減を加えることで新たな付加価値を生み出すグリーンプロセス活動



# 一人ひとりの環境活動

## 富士通グループ社員一人ひとりの環境マインド向上



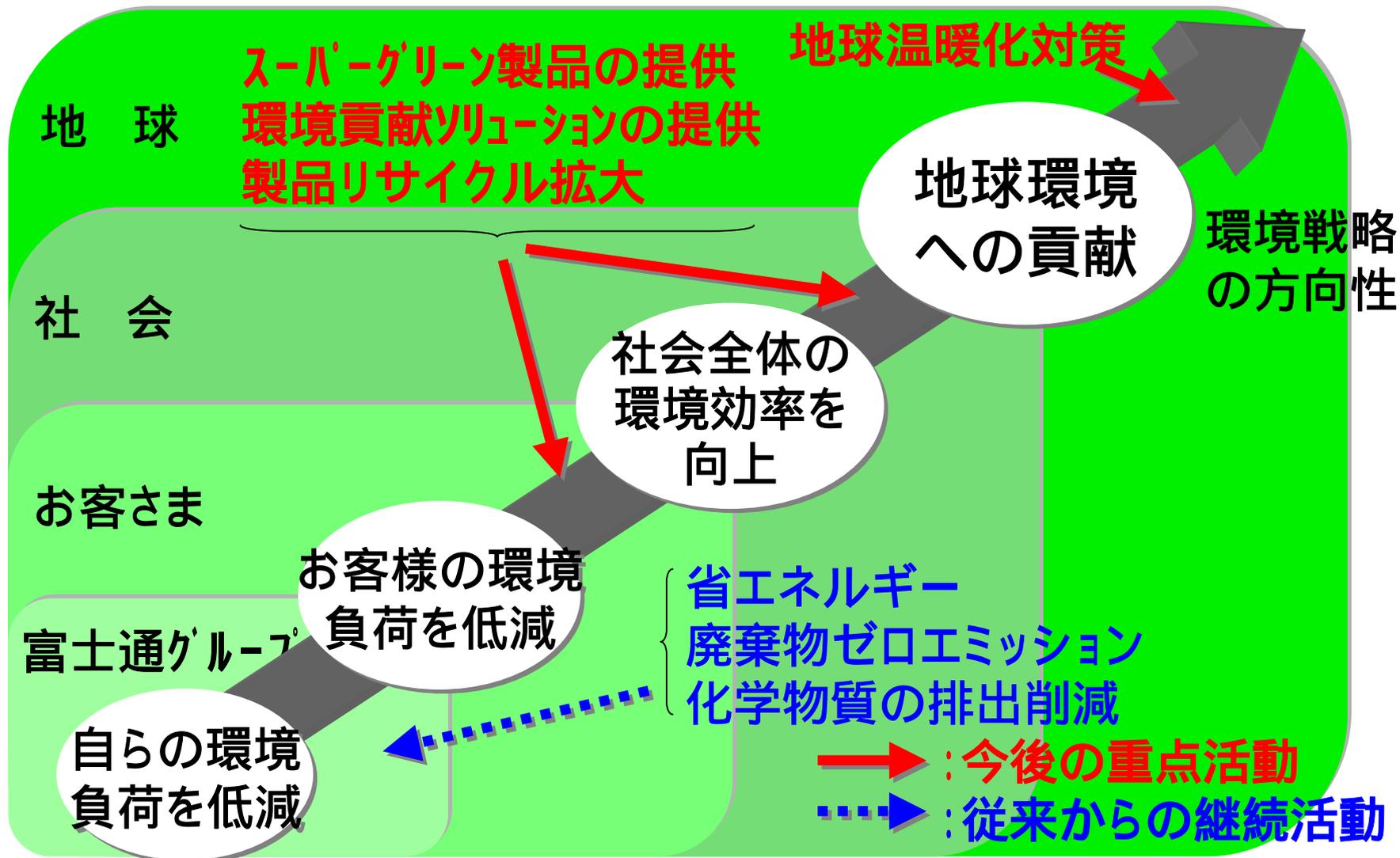
FSAS 姫路支店における  
清掃活動

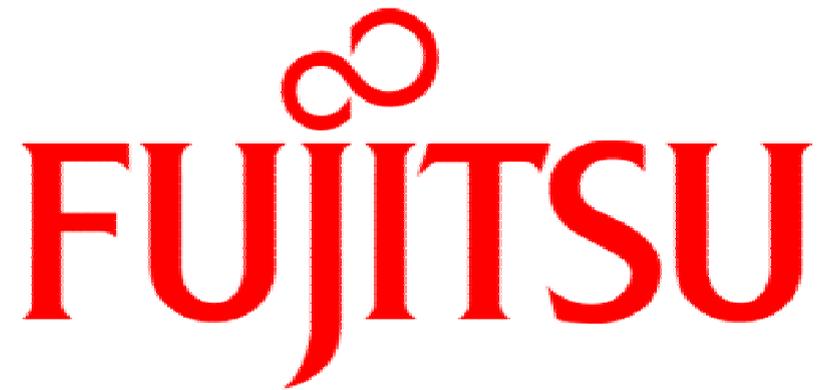
### 「施策」

- ボランティア活動のためのマインドアップ
  - ・入門編、実践編の実施
  - ・ボランティアリーダー育成
- 環境月間による強化(セミナー、イベント)
  - ・川崎工場、本社、富士通SSにて6月～8月開催
- 紙・ゴミ・電気キャンペーン
  - ・コピー機、PC等での個人活動

- ◆イントラWEBでの情報発信
  - ・エコクラブ等
- ◆環境貢献賞によるインセンティブ
  - (6月創立記念日タイアップ)
- ◆その他
  - ・地域貢献活動の支援
    - (グッズ、ツール提供)
  - ・エコツアー
    - (個人参加の応募)

# 富士通グループの目指す姿





**FUJITSU**

**THE POSSIBILITIES ARE INFINITE**